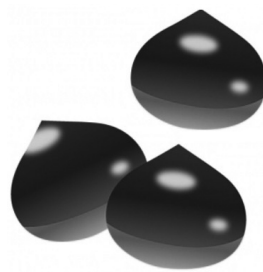


農業



令和元年10月号
会誌 No. 1656

目次

巻頭言

農業の報道で考えること……………合瀬 宏毅 3

論 壇

FAMIC - 食の安全を支える技術者として - ……木内 岳志 4

春期中央農事講演会

農業が本当にスマートになるためには……………小池 聡 6
～生産現場・ICT サイドから見た現状と課題～
質疑応答 …………… 19

農業懇話会

平成30年度食料・農業・農村白書の概要……………伊佐 寛 24
質疑応答 …………… 34

表彰農家訪問

大胆な組織展開と卓抜した経営管理により
地域水田農業を牽引する……………八巻 正 38
- 秋田県湯沢市に、やまだアグリサービス（株）柴田為英さんを訪ねて -

農業・農村の現場から

- オキナワヤマイモ（沖縄山芋, *Dioscorea alata* L.）と山芋スープ …… 47
貝沼 圭二
小林 仁
貝沼 真美

世界の農業は今

- ドイツの農村振興と「詩的な場所」 …… 飯田 恭子 54

私の経営と志

- 養鶏はカッコいい …… ノーマン 裕太ウエイン 59

農政情報

- 大日本農会だより …… 62
編集部から …… 62

ミニ情報

- 農林水産省から「食料・農業・農村基本計画」に対する意見・要望募集のお知らせ …… 23
地理的表示保護制度(GI)に基づき登録された特定農林水産物（19） …… 61

表紙写真説明

最盛期を迎える「加賀れんこん」の収穫 (石川県金沢市河北潟干拓地)

河北潟干拓地^{*}のレンコンは水深50~60cmの圃場で栽培され、収穫の際は、水堀りといい、パイプラインの水を利用して、水圧で水中の泥をどけて収穫する方法で行われます。出荷は早い物は8月頃から始まり、翌年5月まで続きますが、ピークは10月から翌年2月となっています。

重粘質土壌で栽培する「加賀れんこん」は、身詰まりが良く、穴が小さく、肉質がち密といった特徴があり、ほんのりとした薄紅色をしています。

取材させていただいたJA金沢市れんこん部会^{きた} 北部会長のおすすめの食べ方は、素焼き、炒め物で、デンプンが乗ってくる10月以降は、煮物、みそ汁が良いと仰っています。

※河北潟干拓地は、石川県金沢市、かほく市、津幡町、内灘町の2市2町にまたがって立地しており、土壌は客土をした一部の砂質土壌圃場を除き、重粘質土壌で、1,071haの農地を有する干拓地です。

(写真と文：北陸農政局企画調整室提供)